

1 . 消防組織・体制

1 . 消防機関

平成 1 5 年 4 月 1 日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

消防本部				消防団		
消防本部	消防署	出張所	消防職員数	消防団数	分団数	消防団員数
3 3	8 2	1 1 9	7 , 6 5 7	7 2	8 4 4	2 9 , 1 3 4

県下 80 市町村（33 市 42 町 5 村）全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、34 消防本部のうち 24 消防本部（21 市 3 町）は、市町村単独で設置し、10 消防本部が共同処理による一部事務組合（12 市 39 町 5 村）を設置している。

消防団は全て非常備消防団であり、整理統合が進んでいる。

なお、平成 15 年 6 月 6 日には野田市と関宿町が合併している。

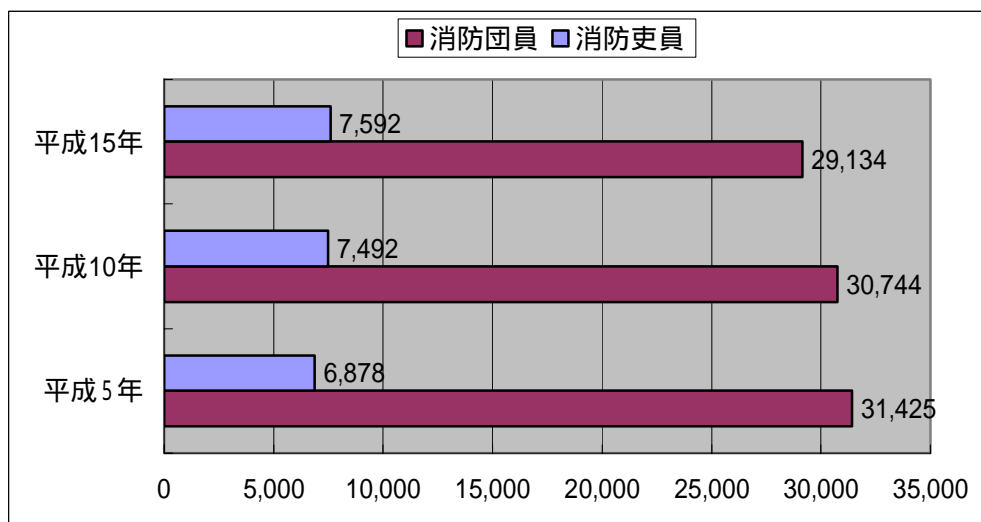
2 . 消防の人員

（ 1 ）消防職員

県下の消防職員は平成 15 年 4 月 1 日現在で 7,657 人、うち消防吏員は 7,592 人であり、常備消防体制の拡充とともに、毎年増加の一途にある。

消防吏員の増加の状況は次のグラフに示すとおりであり、過去 10 年間に 714 人増加しており約 1.10 倍の吏員数となっている。

これは、各消防本部とも消防組織の充実強化に努めたためと考えられる。

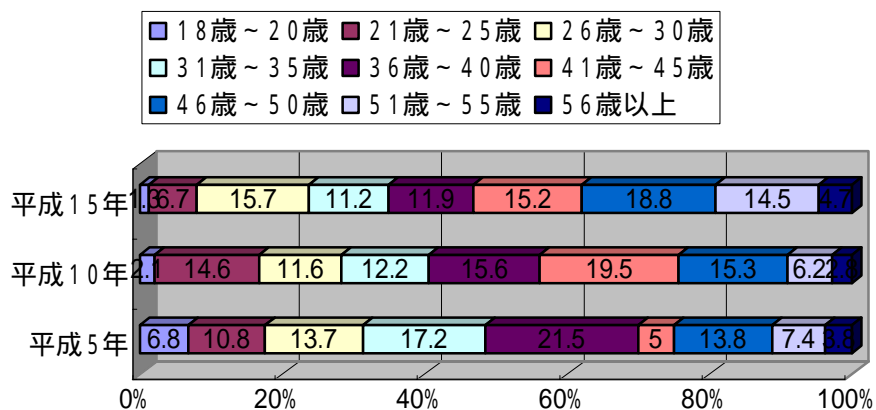


消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別にみると各々次の表のとおり変化してきている。

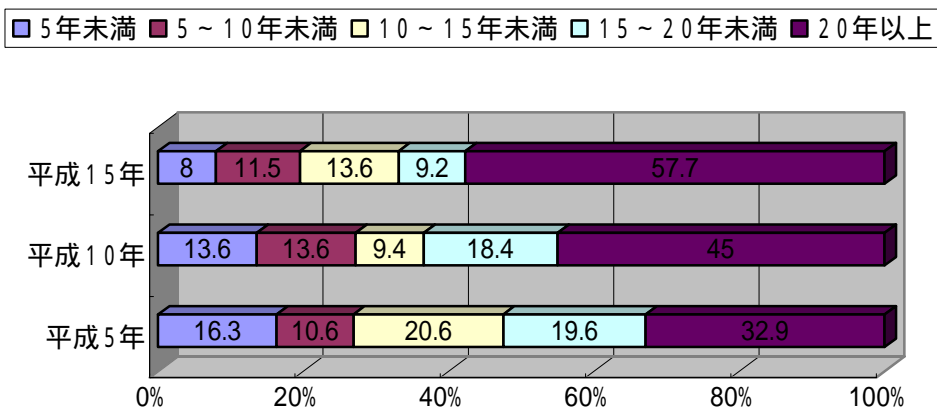
年齢別にみると 46～50 歳が 18.8%と最も多い。在職年数別にみても、20 年以上在職者が増加しており、5 年以上 20 年未満の割合が減っている。

消防吏員の平均年齢は 40.4 歳で昨年より 0.5 歳高くなっている。

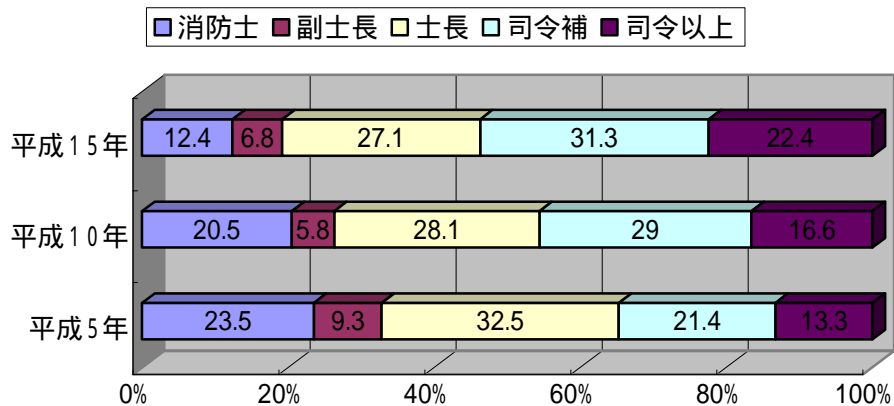
年齢別消防吏員の推移



在職年数別消防吏員の推移



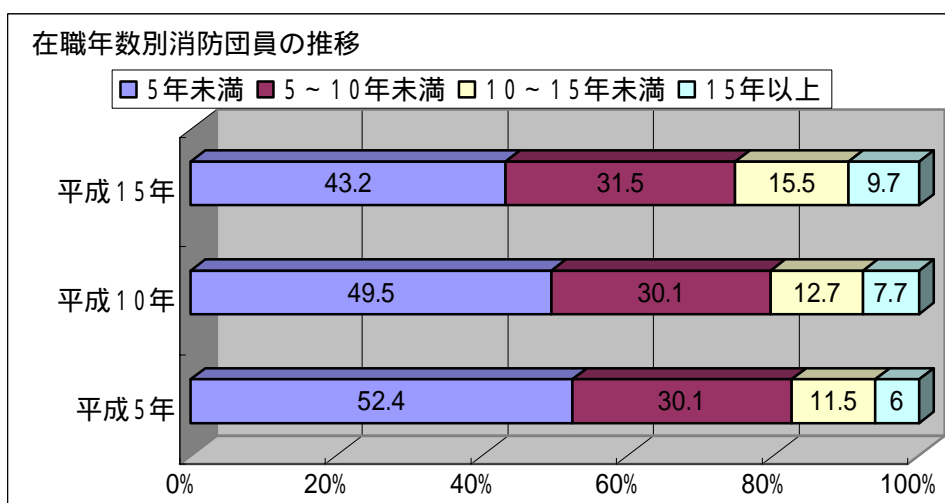
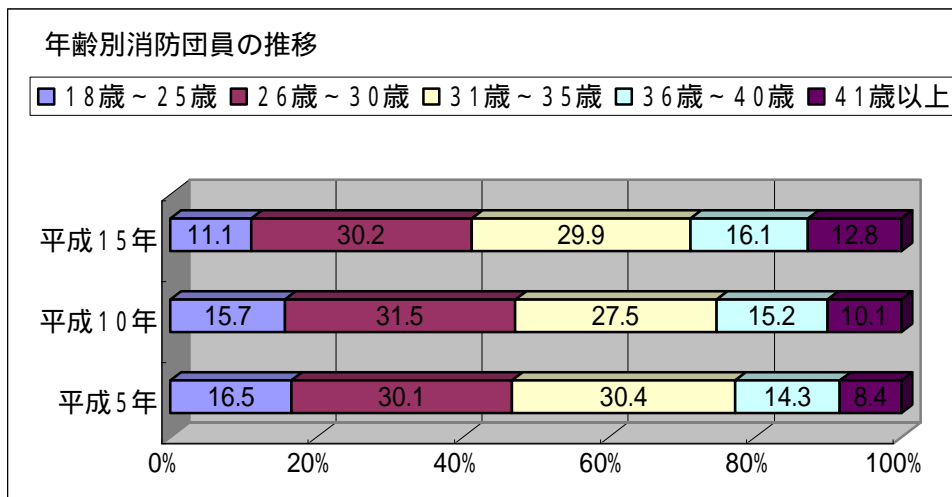
階級別消防吏員の推移



(2) 消防団員

平成 15 年 4 月 1 日現在の消防団員数は、29,134 人であり前年と比較して 633 人の減少となっており、さらに 10 年前と比較すると 2,291 人の減少である。これは、常備消防の進行及び都市化による減少等が考えられる。在職年数が 5 年未満の団員は全体の 43.2% を占めている。また、年齢構成は 35 歳以下の団員が全体の 71.2% を占めている。

団員の平均年齢は 32.9 歳で、昨年に比べ 0.2 歳上回った。



階級別消防団員の推移

